

平成29年産 大雲仙トマト病害虫防除基準



平成29年6月
JA島原雲仙南部基幹営農センター

基本的には、耕種的防除を徹底し減農薬栽培(当地比5割以上減)に努め、病害虫が発生したら下記の薬剤により防除を行う。

化学農薬の成分散布回数は27回以内(育苗時10回以内、定植後17回以内)とする。(植物成長調整剤も含む)

★	←基幹防除薬剤	←変更箇所及び対象農薬	←新規農薬						
時期	病害虫名	基幹防除	薬剤名	化学農薬成分回数	倍数	使用時期	総使用回数	蜂への影響	備考
育苗時	コナジラミ類	★	ベストガード粒剤	1回	5㍈/土1㍈ 1~2㍈	播種時 育苗期	1回	30日	育苗培土混和 株元処理
			スタークル顆粒水溶剤	1回	2,000~3,000倍	前日	2回	30日	
	アブラムシ コナジラミ類		アドマイヤー1粒剤	1回	1鉢1㍈	鉢上げ後	1回	45日	株元処理
			スタークル粒剤	1回	1株1~2㍈		1回	30日	株元散布
	疫病・葉かび病	★	ダコニール1000	1回	1,000倍	前日	4回	1日	育苗期のみ使用
	ハスモンヨトウ オオタバコガ		アフーム乳剤	1回	2,000倍	前日	5回	2日	
	コナジラミ類		ベストガード水溶剤	1回	1,000~2,000倍	前日	3回	15日	
	ハモグリバエ		バリアード顆粒水和剤	1回	2,000~4,000倍	前日	3回	1日	

害虫侵入予防とマルハナ蜂導入のため、定植前にハウスのサイド、谷部、ビニールの無いところすべてに防虫ネットを必ず被覆する。又、黄色粘着板の設置を行い、減農薬栽培に努める。

定植時	コナジラミ類, アブラムシ	↑ 選択 ↓	プリロックス粒剤(新規)	1回	2g/株(株元散布)	育苗期後半 ~定植時	1回	1日	効果長い	
			ベリマークSC(来期削除)	1回	800倍50ml/株 (灌注)	育苗期後半 ~定植当日				
10月 ~ 11月	コナジラミ類 アブラムシ	★	モスピラン顆粒水溶剤	1回	2,000倍	前日	2回	1日	くん煙剤	
			モスピランジェット	1回	400㎡当り50g	前日				
			バリアード顆粒水和剤	1回	2,000~4,000倍	前日				
			クリアザールフロアブル	1回	2000~4,000倍	前日				
			コルト顆粒水和剤	1回	4,000倍	前日				
	ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ			フーモン	なし	1000倍	前日	—	0日	単用
				アニキ乳剤	1回	1,000~2,000倍	前日	3回	1日	コナジラミ類
				アフーム乳剤	1回	2,000倍	前日	5回	2日	トマトサビダニ
				エスマルクドライフロアブル	なし	1,000倍	前日	—	0日	
				プレバソフフロアブル5	1回	1,000~2,000倍	前日	3回	1日	効果長い
12月 ~ 2月	疫病	★	レーバフフロアブル	1回	1,500~2,000倍	前日	合計3回	0日	予防	
			ゾーベックエニケード	1回	5000倍	前日				
			ホライズンドライフロアブル	2回	1,500~2,500倍	前日				
			ベトファイター顆粒水和	2回	2,000倍	前日				
			エトフィンフロアブル	1回	1000倍	前日				
			ザンプロDMフロアブル	2回	1500倍	前日				
	灰色かび病	★	コサイド3000(銅剤)	なし	1,000倍	—	—	0日	単用	
			クリーンカップ(菌+銅)	なし	1,000倍	前日	—	0日	単用	
			ピクシオDF	1回	2000倍	前日	4回	1日	菌核病	
			ファンタジスタ顆粒水和剤	1回	2000~3000倍	前日	3回	1日	菌核病	
すすかび病			ポトキラー水和剤	なし	10~15g/10a/日	発病初期	—	0日	ダクト内投入	
			アフエットフロアブル	1回	2,000倍	前日	2回	1日	菌核病、葉かび病	
			カンタスドライフロアブル	1回	1,000~1,500倍	前日	合計2回	1日	菌核病、葉かび病	
			シグナムWDG	2回	2,000倍	前日		1日	葉かび、すすかび病	
うどんこ病ダニ			スコア顆粒水和剤	1回	2000	前日	3回	1日	葉かび病	
トマトサビダニ			イオウフロアブル	なし	500~1,000倍	—	—	0日	単用、汚れ注意	
			コロマイト乳剤	なし	1,500倍	前日	2回	3日		
3月以降	葉かび病		ダニトロンフロアブル(新規)	1回	1000倍	前日	3回	0日		
			インプレッションクリア	なし	1,000倍	発病前~初期	—	0日		
			トリフミン乳剤	1回	2,000倍	前日	5回	0日		
			ラリー乳剤	1回	2,500~5,000倍	前日	3回	0日		
	灰色かび病			ネクスターフロアブル(新規)	1回	1000倍	前日	3回	0日	うどんこ病
				セイビアフロアブル	1回	1,000~1,500倍	前日	3回	0日	
	コナジラミ類	★	★	スミブレンド水和剤	2回	2,000倍	前日	3回	0日	低温時薬害
				ベネビアOD	1回	2,000倍	前日	3回	1日	展着剤混用不可
				コルト顆粒水和剤	1回	4,000倍	前日	3回	5日	
				スタークル顆粒水溶剤	1回	2,000~3,000倍	前日	2回	14日	
越冬期	植物成長調整剤		トマトトーン	1回	50~100倍	開花時	1花房に1回	1日		
			ジベレリン	1回	10ppm	開花時	1花房に1回	1日		

化学農薬成分回数

27回以内



・薬剤による土壌消毒は行わない。・ハウスイ内に除草剤は使用しない。
・表中の時期は基準であり、病害虫の発生時期に応じて上記薬剤を使用する。
★銅剤の散布については、酸性資材(ネイチャーエイト等)との近接散布を避ける(薬害) < 上記以外の薬剤は使用しない。>